

令和6年度 第2回 南さつま商工会議所 経営発達支援計画評価委員会
集計結果について

5. よくできている 4. できている 3. ふつう 2. もう少し 1. できていない

項目	評価 (平均)	コメント欄					
I. 経営発達支援事業の内容							
1. 地域の経済動向の調査に関すること	4.2	5	3	5	4	4	4
<p>・コロナ禍を経過した会員事業所の経済動向を調査分析し、南さつま市加世田の業況がコロナで厳しく、今後の見通しも厳しいことがわかった。</p> <p>・(株)九州経済研究所への業務委託による調査がなされ評価できる。この調査結果をもとに支援の在り方が必要と思われる。</p> <p>・外部(株)九州経済研究所(KER)に委託してよくできていると思う。</p> <p>①調査の概要、②事業所向け、③個人向け、に調査を行っている。内容を拝見して、本調査とKERの調査と比較している点がわかりやすかった。</p> <p>・コロナ禍において実施されていなかった調査を実施したことは評価できる。調査結果で得られた課題や動向を分析し、要望に沿った経営支援を実施していただきたい。</p> <p>・(株)九州経済研究所への業務委託による調査を実施し、かつホームページにおいて公表するという実務を令和5年度の下半期で速やかに実施している。この調査結果を踏まえて、会員への支援の充実につなげていただくことを望む。</p>							
2. 経営状況の分析に関すること	4	4	4	4	4	4	4
<p>・鹿児島よろず支援拠点など他の支援機関とも連携し、新しい税務の制度(インボイス)など時代に即した内容でセミナー等が開催できた。</p> <p>・定期的に様々な分野の研修が実施され良い。もう少し参加者を増やす試みを期待する。</p> <p>・各種セミナーを7回、出席者97名、個別相談4名実施。経営の分析は、会社の状況を聞いて取組等をいろいろな角度から見る目を商工会議所側が相談者に「気づかせること」にあると思う。評価は「できている」と思う。</p> <p>・各種セミナーを定期的に開催することにより、経営状況分析のポイントを把握できていると思われる。</p> <p>・様々な分野の講師による研修を実施し、その内容も充実していると思う。今後において、参加者の掘り起こしを図るとともに、取引の安全を求めるための消費者志向経営や、コロナ禍の教訓から行政手続に関する知識の習得も必要と考える。</p>							

<p>3. 事業計画策定支援に関するすること</p>	<p>2.8</p>	<table border="1" data-bbox="480 96 1345 152"> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>・小規模事業者持続化補助金をはじめ、コロナ禍でも創業を含め事業所の申請に対応しているが、補助金採択されず否決は残念であった。</p> <p>・小規模事業者持続化補助金の採択が少ない。採択されるための事業計画作成に向けた研修への参加や会員向けの研修の実施等、検討が必要ではないか。</p> <p>・小規模事業者持続化補助金の申請が、年度に4回あり、8回申請。採択企業は1件のみ。申請書の記入方法や、その企業の思いが伝わる文章の表現方法が不足していたのではないかと推測。商工会議所として、企業が補助金を利用し、設備投資を行うことで、①利益を上げたい気持ち、②社会に還元して役に立ちたい気持ち等、一企業だけの考え方ではなく、視野を広くした文章表現が必要と思う。残念。</p> <p>創業融資のための開業計画書作成支援は4件申請4件とも融資された。商工会議所の担当者が違ったのか、こちらの方は満点。</p> <p>・小規模事業者持続化補助金の採否は別として、申請時の事業計画策定の支援が行われている。また、創業時の計画書等作成の支援も実施されている。</p> <p>・小規模事業者持続化補助金の申請に係る支援に努めているものの、採択されていない案件が多いことから、申請者と支援者が改善策を講じるためにも、審査実施機関に不採択案件の理由の提示や説明を求めることも検討いただきたい。(行政手続法第8条)</p> <p>・各種補助金の申請に対し、採択率が低い件について個別に要因分析し、対策を講じる必要がある。</p>	3	2	2	3	4	3
3	2	2	3	4	3			
<p>4. 事業計画策定後の実施支援に関するすること</p>	<p>3.1</p>	<table border="1" data-bbox="480 1025 1345 1081"> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>・補助金採択と否決に関わらず開業関係や労働保険事務などのフォローアップに取り組んでいた。</p> <p>・補助金採択者への支援については、「経営指導員が随時行った」とあるが、もっと具体的に例を挙げて説明してほしい。評価委員も内容がわかると思う。創業者支援については全員が融資実行されているので問題はない。</p> <p>・経営指導員による補助金採択者及び創業者への支援を着実にやっていることは評価できる。</p> <p>・創業を検討している方へのスタートアップ支援を中心として、困ったときに相談できる場所としての価値を高めるべく、さらなる経営指導の充実を要望する。</p>	4	3	3	3	3	3
4	3	3	3	3	3			
<p>5. 需要動向調査に関すること</p>	<p>4</p>	<table border="1" data-bbox="480 1541 1345 1597"> <tr> <td>5</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>・南さつま市特産品のイメージや特産品開発と個人の購買動向もなかなか興味ある結果となっていた。</p> <p>・需要動向調査の結果を基に、支援の在り方や研修等の検討を期待する。</p> <p>・委託して、日用品は地元、ぜいたく品は市外購入が多いという結果。注視したいのは時代の流れもあろうがインターネット（通信販売含む）での注文が多い点。早くて安くて自宅での注文。一方地元専門店が消えゆく運命にあるのではと危惧する。商工会議所は全国のネットワークを使って情報を整理し会員に知らせる努力をしているか、だと思ふ。</p> <p>・調査結果を基に、会員の要望等を反映させていただきたい。</p> <p>・調査結果を踏まえて、会員へのニーズに則した事業の展開につなげていただくことを望む。</p>	5	3	4	4	4	4
5	3	4	4	4	4			

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	3.5	2	4	4	3	4	4
		<p>・新たな需要の開拓に寄与する事業として実施した「ふるさと産品コンクール」の出品数が少なかったことは残念であった。</p> <p>隔年開催とすることにより事業所にも時間的な余裕ができるので、今後期待したい。</p> <p>また、物産展はリピーターを得るためにも継続と新たな大阪での販路箇所での情報発信などの取組みが必要。</p> <p>・南さつま市ふるさと産品コンクールも定期的な開催となり周知されているが、参加者が固定化されているようなので、新しく多くの事業所が参加できるような取り組みを検討いただきたい。</p> <p>・ふるさと産品コンクールについて、外部の助言者に指導してもらい、出品物も年々よくなっている。</p> <p>・ふるさと産品コンクールを定期的実施し、販路拡大のための各種商談会やイベント等への出展によりPRに繋げていることは評価できる。</p> <p>・ふるさと産品コンクールについては、ラジオ媒体を活用した積極的な情報発信に努められている。特産品のさらなる販路拡大に向けて、今より販路を広げたい（広げることができる）事業者を中心に強化を図っていただきたい。</p>					

II. 地域経済の活性化に資する取組

地域経済の活性化に資する取組	4.1	4	4	4	4	5	4
		<p>・各団体との連携をとり事業展開を図っている。</p> <p>・プレミアム付き商品券の販売窓口対応や、地域の各種イベントへの協力、参画等大いに寄与している。</p> <p>・各種関係団体（商工会議所・商工会・市・観光協会・農協・漁協）の協力を得ながら、商談会やイベントへの参加をしている。またプレミアム付き南さつま市商品券の販売窓口となり、市民の皆様には好評を得ている。今後も是非継続していただきたい。</p> <p>融資についてはコロナ感染症の時期ではあったが、日本政策金融公庫14件、鹿児島県保証協会10件の申し込みがあった4件の取り下げもあったが良好だと思う。</p> <p>・各種関係団体の協力のもと、南さつま市共通商品券販売を実施し、地域経済の活性化を図っている。</p> <p>また、融資のあっせんについても、経営指導のもと実行されている。</p> <p>・南さつま市共通商品券事業においては、継続的な取り組みとして市民への周知に努めている。融資の支援においては、金融機関及び行政機関との連携ができているものと評価する。</p> <p>・南さつま市共通商品券の販売にあたり、事務負担、他の市町村の動向を鑑み、電子化の必要性を検討いただきたい。</p>					

Ⅲ経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

<p>1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</p>	<p>3.8</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 16.6%;">4</td> <td style="width: 16.6%;">4</td> <td style="width: 16.6%;">3</td> <td style="width: 16.6%;">4</td> <td style="width: 16.6%;">4</td> <td style="width: 16.6%;">4</td> </tr> </table> <p>・セミナーなど、かごしま産業支援センターや他の支援機関との連携による情報交換、他の商工会議所職員と研修会等での意見交換を図っている。</p> <p>・他地区の商工会、商工会議所職員との情報交換は行われているようである。</p> <p>・文面だけで「情報交換を行っている」だけ書かれても判断に悩む。</p> <p>・各種会議において、経営支援に向けた情報・意見の交換が行われていることは評価できる。</p> <p>・他の支援機関等との連携を実施している。事業者の減少は地域にとっても損失となる（店があり人が通うことで治安の維持にもつながる）ため、様々な支援機関が連動することが求められる。あと数年で廃業を検討している事業者に対して事業承継のメリット（資産価値を高めて譲渡することで老後の資金にもなる等）を周知することが重要となる。先進事例に関する情報の収集と共有を図ることで、「終える事業者」と「始める事業者」のマッチングからクローズ支援並びにスタートアップ支援の体制が構築できればと考える。</p>	4	4	3	4	4	4
4	4	3	4	4	4			
<p>2. 経営指導員等の資質向上等に関すること</p>	<p>4.1</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 16.6%;">4</td> <td style="width: 16.6%;">4</td> <td style="width: 16.6%;">4</td> <td style="width: 16.6%;">4</td> <td style="width: 16.6%;">5</td> <td style="width: 16.6%;">4</td> </tr> </table> <p>・経営指導員のスーパーバイザー事業の取組みは、今後の指導業務に役立つことが期待できる。</p> <p>・各経営指導員が定期的に研修会へ参加し資質向上に励んでいるようである。</p> <p>・指導員研修、事業承継・事業再生のセミナー等参加されたとのこと。若手指導員の育成事業もされている。</p> <p>・県内の研修やセミナーに参加し、経営指導員のスキルアップへの取り組みが実施されている。</p> <p>・経営指導員の年齢構成などにおいても持続可能な支援体制が構築できているものとする。中小企業相談所長会議やスーパーバイザー事業における若手経営指導員研修をはじめ、様々なセミナーに参加することによって知識の習得を図るとともに、横断的な連携に向けた支援機関間の交流にも努めていると評価する。</p>	4	4	4	4	5	4
4	4	4	4	5	4			
<p>3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p>	<p>3</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 16.6%;">3</td> <td style="width: 16.6%;">3</td> <td style="width: 16.6%;">1</td> <td style="width: 16.6%;">3</td> <td style="width: 16.6%;">4</td> <td style="width: 16.6%;">4</td> </tr> </table> <p>・今後継続した評価委員会の実施が望まれる。</p> <p>・事業評価については、これまでコロナ感染症の影響でほとんど評価されていない。今回、急遽評価委員を選定し、評価委員会を開いている。このような状況では評価ができない。</p> <p>・コロナ禍を経て、評価委員会を定期的で開催したことは評価できるが、その後の分析や見直しを実施することで、様々な支援体制が構築されることを期待したい。</p> <p>・令和5年度は2回の評価委員会を実施しているので、評価実施に基づく事業の見直し等を行うことで、より良い支援機関としての発展を期待する。</p> <p>南さつま市で事業を始めるという意思決定にあっては、地域の人口や経済情勢が判断材料になるだろうが、それ以外にも地域の温かみも重要となることから、様々な分野の講師を揃えた「創業塾」を開設のうえ、スタートアップ支援の体制が構築できればと考える。</p>	3	3	1	3	4	4
3	3	1	3	4	4			